

検査の流れ

◎感染予防対策をした上で検査を実施してください。

検体抽出液入りチューブ、テストスティックはアルミパックのままで、室内温度 15～37℃に戻してからご使用ください。

操作
方法
に
関
する
動
画
は
こ
ち
ら



CHECK! 01

検体の採取方法

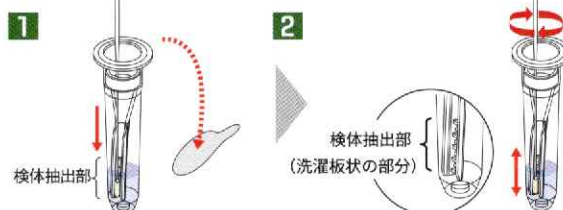
鼻腔ぬぐい液の採取方法



滅菌綿棒を鼻腔に沿って2 cm程度挿入し、鼻甲介付近でゆっくり5回程度回転させて擦過します。数秒間静置してぬぐい液を採取し、検体とします

CHECK! 02

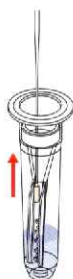
操作方法



検体抽出液のチューブからアルミシールをはがします。検体を採取した綿棒の綿球部分を検体抽出液の検体抽出部の底までゆっくり浸します。

綿棒を検体抽出液に浸した状態で、検体抽出部でゆっくりと上下させながら5～10回程度回転させます。

3



綿棒をゆっくりと引き抜きます。強く引き抜くと、内容物が飛散するおそれがあるので注意してください。

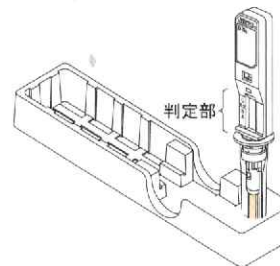
4



テストスティックを検体液入りチューブにまっすぐにゆっくりと挿入します。チューブとテストスティックの接合部に隙間が出来ないようにしっかりと差し込みます。

隙間のないように
しっかりと！

5



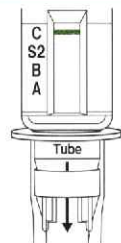
テストスティック容器のチューブスタンドにまっすぐに立てて、5分間静置します。5分後、テストスティックの判定部分に出現するラインの有無を目視で観察し、判定します。

CHECK! 03

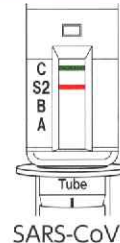
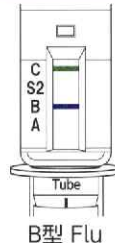
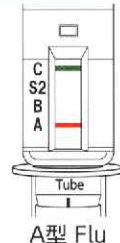
判定方法



陰性



陽性



5分間静置後、テストスティックの判定部分に出現するラインの有無を目視で観察し判定します。
ただし、5分より以前であっても判定部 [C] に緑色のラインといずれかの陽性ラインが両方確認出来た時点で陽性と判定することができます。

右図の場合は判定保留とし、再度検体を採取して検体液を調製し直し、新しいテストスティックで再検査を行ってください。

判定保留

